

まちづくりに向けての前進！

スケジュール(案)発表

今回の柳町まちづくりの会(以下まち会と呼ぶ)は、今後のまち会のスケジュールを発表するところから始まりました。来月からのまちづくり相談員の導入とからめて組織の見直しや地区計画の勉強など本格的な活動予定が書かれ、一同の士気も高まりました。



ブレインストーミングの解析結果

前回まち会では参加した住民の方々に、まちづくりへの希望を述べてもらい紙に書いて発表しました。今回(第8回まち会)は皆さんの希望を書いた用紙をグループに分け、そのグループが何を言わんとしているかを解析し、タイトルを付けました。将来どのようなまちを創りたいのか。まちづくり方向の指針になる訳です。防災に強いまち・歴史を活かすまち・子供に安全なまち・公共施設の充実・人に優しいまち・商店街の活性化・夜安心なまち・土地の有効利用・人の集まるまち・快適な歩道・環境に配慮したまち・緑の美しいまち。以上十二組に分類できました。これをまちづくりの目標を作る基とします。次回までに小委員会の方でまとめ案を提示する予定です。



試衛館ウォーキング報告

市谷柳町二五番地に新選組局長近藤勇が道場を開いていたことを広める為に発足した同好会「市谷柳町試衛館」が去る十一月三日に第二回のウォーキングが開催されました。



<http://www.asahi-net.or.jp/~gd8s-nki/shieikan/>

組織の見直しについて

これからの行政側との交渉や打ち合わせ・まち会の拡大、どれも個人レベルでは限界である。まち会も早急に規約・組織構成において、まちづくり相談員の意見を取り入れ見直さなければならぬと共に、まち会参加者の一人一人のお力添えが益々重要になっていくでしょう。次回より、まちづくり相談員と組織構成の見直しと会員相互の関わり方などを整理していく予定です。

運営資金について

今までまち会の運営費用は町会・商店会の協力や有志の自費などでまかなってきましたが、今後、まち会を大きくしたり、情報発信の規模を拡大したりすることを考えれば、運営資金の抽出方法も見直す必要があります。今回のまち会では、次のことが議論されました。会費を徴収するのか、否か。会費を徴収するのは町の為だから、柳町町会と親和会の会費を上げてまち会に協賛する。この会に賛同された方から少ずつ会費を徴収した方が良い。まち会に属する有志を、さらに、個人会員・法人会員・賛助会員に分けて募るのも良いと思う。などの意見が出ましたが、これから皆さんと良く検討して結論を出そうと思います。

環状3号線拡幅の現況

当初の予定よりも、幾分遅れているようです。30%が買収行程が完了済です。焦ることはありませんが、良いまちをつくる為に成すべきことは沢山ありますので整理しながら確実に具現化したいものです。



【第九回の日程】

十二月七日(火)新浪漫亭二階会議室・夜七時より。住民の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

ご意見・ご質問などがございましたら町づくりの会事務局(川上) 三三四一・三三九七・八木(三三四一・九八七七)まで連絡ください。